

## 2014年ゴールデンウィーク期間におけるご利用実績について

2014年ゴールデンウィーク期間(2014年4月25日(金)～2014年5月6日(火))のジェットスター・ジャパンにおけるご利用実績を以下のとおりご報告いたします。

### ■ご利用実績

国内線:全14路線

提供座席数		総旅客数		利用率
164,880席 (95,040)	前年比	124,761人 (74,916人)	前年比	75.7% (78.8%)
	173.5%		166.5%	

( )内は昨年数値

### ■日別利用率ハイライト

下りピーク:2014年5月3日 - 86.4%

上りピーク:2014年5月6日 - 88.8%

	4/25 (金)	4/26 (土)	4/27 (日)	4/28 (月)	4/29 (火)	4/30 (水)
下り	71.3%	73.1%	77.4%	73.4%	73.5%	72.5%
上り	65.4%	58.1%	68.4%	58.5%	69.4%	69.1%

	5/1 (木)	5/2 (金)	5/3 (土)	5/4 (日)	5/5 (月)	5/6 (火)
下り	79.5%	80.4%	86.4%	84.7%	78.4%	78.5%
上り	77.4%	79.7%	82.6%	85.9%	82.8%	88.8%

### ■GW期間における各路線便数(往復/日)

合計38便(往復)

成田路線 28便(往復)	中部路線 6便(往復)	関西路線 4便(往復)
成田＝新千歳 6便	中部＝新千歳 2便	関西＝新千歳 2便
成田＝関西 5便	中部＝福岡 2便	関西＝福岡 1便
成田＝高松 2便	中部＝鹿児島 2便	関西＝那覇 1便
成田＝松山 3便*		
成田＝福岡 5便		
成田＝大分 2便		
成田＝鹿児島 2便		
成田＝那覇 3便		

\*成田＝松山線は、5月3日(日)と5月6日(火)のみ4便(往復)

■直近3カ月の定時運航率(ご参考)

2月:82%、3月:82%、4月:89%

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会、中部国際空港記者会、高松県政記者会、番町記者クラブ、大分県政記者クラブ、鹿児島県政記者クラブに配布しています。

**ジェットスターグループについて**

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の路線網を誇り、最も急速に成長しているLCCで、オーストラリア、ニューージーランド(カンタスグループの子会社)のジェットスター航空、シンガポールのジェットスター・アジア航空、ベトナムのジェットスター・パシフィック航空、日本のジェットスター・ジャパン、そして香港のジェットスター香港(関係当局の承認を前提とする)から構成されています。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の60都市以上に週4,000便以上を運航しています。2013年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,300万人超のお客様にご利用頂きました。

**ジェットスター・ジャパン株式会社について**

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄に就航したLCCであり、2013年からは名古屋(3月)、大分(3月)、鹿児島(5月)、松山(6月)、高松(12月)にも就航しています。現在、エアバス社A320型新造機18機(180席/機)で14路線、1日最大76便運航しており、今後24機まで増強する予定です。ジェットスター・ジャパンには、豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。